

出張報告書

平成30年11月 5日

市議会議長 京西 且哲 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 米田 貴志

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 古民家再生事業について
サイクルツーリズムの取り組みについて
- 2 出 張 先 宮崎県日向市、熊本県阿蘇市
- 3 出張期間 平成30年11月1日（木）～平成30年11月2日（金）
- 4 出張者氏名 米田貴志、南加代子、友永 修、岩崎 雅秋
- 5 てん末報告 別紙のとおり

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

岩崎雅秋

視察先	日向市	テーマ	古民家再生への取り組みについて
日 時	平成 30 年 11 月 1 日（木） 13 時 00 分～15 時 00 分		
参加者：米田貴志・南加代子・岩崎雅秋・友永修			
●市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について ・今年 5 月 30 日に日向市と古民家再生協会宮崎が市内移住や地域活性化へ向けて古民家活用の協定を結びました。役割分担として行政は古民家や空き家の相談会などの開催の周知、市職員のイベントへの参加などを行います。財政支援はないとの事です。協会は古民家鑑定、古民家簡易鑑定、伝統耐震診断等を行い安心、安全な古民家を提供できる状態にする。今後の展開としてはレンタルスペース、宿泊施設、オフィス等へ活用する。課題としては地域活性したい人、そのまま静かに過ごせれば良い人、それぞれ考え方が違うので協議会等でまとめあげ地域コミュニティとして一体感を生み出すことが非常に重要だと考えている。効果として、まずは交流人口を増やし、1泊が2泊、次は1週間と日向市の魅力を体験を通して知ってもらい最終的には移住者増に貢献する。また、一度町をでた日向市出身の若者が、再び日向で生活したいと思える様な賑わいを生み出す事。本市は城下町でもあり立派な空き家古民家が点在しており空き家対策にも役立つ古民家活用の為に古民家再生協会との協定を結ぶ事は検討に値すると思います。			

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

友永 修

視察先	阿蘇市	テーマ	サイクルツーリズム学校「コギダス」について
日 時	平成30年11月2日（火）10時00分～12時00分		

市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について

阿蘇市は、九州のほぼ中央に位置し、世界最大級のカルデラや広大な草原を有し、平坦地の阿蘇谷と傾斜地の外輪地域で形成されている。自然資源が大変豊富で、今なお続く活発な火山活動から地球の鼓動を直に体感することができる特異な地域である。

阿蘇地域を広域でブランド化推進。「世界農業遺産」「世界ジオパークネットワーク」「阿蘇くじゅう観光圏」などに認定されており、世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化を図る選考地域として、全国8か所の一つに選定されている。阿蘇の魅力を訪れた人により楽しんでもらうためのツールとして全国、また世界中で注目されている「サイクルツーリズム」を阿蘇地域で推進していくことを目指し、地域や来訪者が一体となってサイクルツーリズムを育んでいく学校のような活動を行っていくのが目的である。平成29年度にキリンググループから、地域活性化支援の一環として「阿蘇サイクルツーリズム学校プロジェクト」への支援金を受ける。阿蘇市が実施するプロジェクト各事業の受け皿として「コギダス」協議会を設立。協議会関連事業として「牧野ガイドモデル事業」「地域特産を活用した勝因開発」「サイクルトレーニングセミナー事業」などなど様々な事業を地域を巻き込み実施している。周遊プログラムも工夫を凝らし開発しており、ライトユーザーやファミリーをターゲットとしてゲーム感覚での地域滞在を促進している。

※広大な阿蘇山を舞台に、自転車を使って地域の活性化・賑わいづくりに積極的な事業展開をされていて素晴らしいなと感じたのが第一印象。本市でどう活かせるのかを考えてみたが、地元地域の理解・協力をどう得るかが課題の一つである。阿蘇市では、地域の理解を得るために、粘り強い話し合いと実際に体験していただくなど、根気強く取り組まれてきたエピソードなども聞かせていただき非常に参考になりました。